

## 競技上の注意事項とお願い

1. 本大会は、2022年度（財）日本陸上競技連盟競技規則および本大会の開催要項によって運営する。
2. 各種目の申込者数により、組分けを決定する。組分け決定後9：00以降、順次掲示する。
3. 参加者は全員、受付（TIC）に**体調管理チェックシート**を提出して確認を受けて**リストバンド**を受取り装着すること。
4. ウレタン舗装以外の部分を通るときは、スパイクシューズは脱ぐこと。
5. 選手の控所は、正面スタンドとする。貴重品は自分の責任において保管すること。更衣室のロッカーを使用してもよい。
6. 招集所（競技者係）は第1ゲート外側付近に設ける。招集は競技開始の25分前に開始し15分前に完了する。  
**アスリートビブスは2021年度登録番号を使用する。（無い者は白布を用意すること。）腰ビブスを受取り右腰に着ける。**  
**組ごとに招集時刻が異なるので、競技日程に記載の時刻を厳守のこと。**  
招集を完了後は招集所を離れないで、役員の指示に従い、ダッグアウトを通りスタート地点に移動する。
7. 衣類運搬を行う。①競技者係でビニール袋(70ℓ)を準備すること。無い者はTICで販売する。②ナンバーと氏名を記入する。③スタート地点で衣類を入れ、所定の位置に置く。④役員が運搬する。⑤フィニッシュ地点で荷物を受取り、退場する。
8. スパイクシューズのスパイクは全天候舗装用とし、その長さは9mm以下とする。  
シューズ底の厚さはWA改訂規則を適用する。招集所で検査を実施し25mmを超える規定外のシューズは使用できない。  
**招集所で確認できなかった、或いは事後に確認された場合は記録抹消の扱いとする。**
9. 携帯電話・ラジオ・CD、その他通信が可能な機器の競技場内への持ち込みを禁止する。
10. 競技中に発生した傷病については、本部で応急処置は行うが、その後については本人の責任において処置すること。
11. 競技者が走行・歩行不能（即ち歩いたり、立ち止まったり、倒れた状態）となった場合は、本人がなお競技続行の意思をもっていても、審判長（または権限を委譲された審判員）から中止を命ぜられた場合は、直ちに競技を中止すること。
12. メインスタンド1階更衣室への選手の入退場は、屋外エレベータ前の入口のみとする。出入りの際は**リストバンドを掲示のこと。（陸上競技場平面図参照、正面玄関からの入場は禁止）**
13. 雨天練習場の利用は一方通行（東から西）とする。又、競技開始時刻後の出入りは北側出入口のみとする。
14. **コロナ感染症対策のための規定を順守すること。**
  - ①参加者は受付（TIC）で体調管理チェックシートを提出し、リストバンドを受取り装着すること。提出がない選手は出場を認めない。**招集時、更衣室への出入り、雨天練習場への出入りにはリストバンドを提示すること。**
  - ②応援は、拍手のみとする。
  - ③競技終了後は直ちに、第1ゲート外の階段よりコンコースに上り、手洗い・うがいをすること。
  - ④競技会場に置いてある、消毒液を適時使用してもよい。
  - ⑤競技中（練習含む）以外は、競技場内においても必ずマスクを着用すること。
  - ⑥観戦は監督・コーチ及びチーム関係者並びに家族のみとし、スタンドからとする。体調管理チェックシートを提出し、リストバンドを受取り装着すること。競技場内には大会関係者以外は入場禁止。
  - ⑦報道関係者は受付（TIC）で体調管理チェックシートを提出し、リストバンド・ビブスを受取り装着すること。出入りは正面玄関からとする。
  - ⑧その他、別紙記載事項（別添1、2、3、4）を遵守すること。  
※弁当などの容器を『空缶入れ』には絶対に入れないでください。  
※競技場内にゴミを残さないよう、きれいな競技場にしてお帰りください。  
※競技場エリア内は全面禁煙です。（スタンド、コンコース及び競技場周囲を含む）

## 「競技者」及び「チーム関係者」の皆様へ！！【重要】

新型コロナウイルスの感染リスクを軽減させるため、下記のとおり対応すること。

また、これを遵守できない者には、競技会に関わる全ての人の安全・安心を確保するため、大会の参加を取り消したり、途中退場を求めたりすることがある。

## 記

## 1. 体調管理

「競技者」及び「チーム関係者」全ての者は、大会1週間前から【大会前・提出用】新型コロナウイルス感染症についての体調管理チェックシート(以下「体調管理チェックシート」という。))を記入し、大会当日「**選手受付**」に提出しリストバンドを受け取り必ず装着する。(※チーム・学校の場合は、代表者がまとめて提出すること。但し、各大会での受付要領を優先する。また、提出前に、提出するデータをコピーまたは写真に撮り、自身で保管すること。)

なお、大会当日(時点)3日前より、当該事項に該当がある場合は自主的に参加を見合わせる。

※「体調管理チェックシート」を提出しない競技者は、出場不可とする。

また、健康状態が不確かな競技者は検温を行い、状況により参加を許可しないことがある。

## 2. 3密の回避

3密回避行動を常に心掛け、周囲の人となるべく距離(※できるだけ2m最低1mを目安・以下「ソーシャルディスタンス」という。)を空けること。(介助者や誘導者の必要な場合を除く。)

①ウォーミングアップは個別に行うこと。

②更衣室の滞在は短時間にすること。(シャワールームの使用は原則禁止とする。)

③競技場客席(スタンド等)への入場については、各大会で指定された箇所からのみとする。

④競技場2Fのコンコースで待機等をする者は必要最小限(マッサージを受ける者等)とし、間隔を十分に取ること。(通常の待機等は競技場客席(スタンド等)を使用)

⑤大きな声での会話や応援(特に集団での応援)をしないこと。マスクを着用すること。

⑥集団での写真撮影は避け各々で撮影すること。

## 3. 感染症対策

①各自の責任で、手洗い、うがい、洗顔、マスク着用を徹底すること。

・競技終了後は、直ちに「第1ゲート外側の階段を上った先のトイレ(手洗場)」で、手洗い、うがい、洗顔(マイタオルを使用すること)を行うこと。特に、競技用具使用後は手洗い・手指の消毒をすること。

②マスクの着用について

・競技(試技)中のマスクの着用は必要ない。(ウォーミングアップ中も同様)

・招集中や移動中及び待機中はマスクを着用するよう心がけること。

(※ソーシャルディスタンスが確保できている場合の着用は必要ない。)

・マスク着用による熱中症に気をつけること。

③運動中につばや痰(タン)を吐くことは極力行わないこと。

④飲みきれなかったスポーツドリンク等を指定場所以外(例えば走路上)に捨てないこと。

⑤体液(汗等)の付着したゴミは自己責任で処理すること。(基本的に持ち帰り)

## 4. その他

①マイマスク・マイタオルを持参すること。

②「接触確認アプリ」をインストールすること。

③体調に異変を感じたら、直ちに医務員に相談すること。

④大会終了後、【大会後・個人管理用】新型コロナウイルス感染症についての体調管理チェックシートにより2週間の体調管理・検温を行うこと。【提出の必要はない。】

⑤参加者は症状が4日以上続く場合は、必ず「かかりつけ医」又は「受診・相談センター(＃7700または083-902-2510)」に連絡し、大会主催者に報告すること。

⑥大会主催者の免責事項

・大会主催者が加入する保険は、「競技者」及び「大会／競技役員」・「補助員」の「傷害」及び「熱中症」に係る補償のみ。

・大会主催者は競技会に関する全ての人の感染に対するいかなる責任を負わない。

## 「大会／競技役員」及び「補助員」の皆様へ！！【重要】

新型コロナウイルスの感染リスクを軽減させるため、下記のとおり対応すること。

また、これを遵守できない者には、競技会に関わる全ての人の安全・安心を確保するため、出席を取り消したり、途中退場を求めたりすることがある。

## 記

## 1. 体調管理

大会1週間前から「【大会前・提出用】新型コロナウイルス感染症についての体調管理チェックシート(以下「体調管理チェックシート」という。)」を記入し、大会当日、**大会役員は「大会役員受付」、競技役員は「競技役員受付」へ、また、補助員は補助員の「集合時」に提出しリストバンドを受け取り必ず装着する。**

(※チーム・学校の場合は、代表者がまとめて提出すること。但し、各大会での受付要領を優先する。また、提出前に、提出するデータをコピーまたは写真に撮り、自身でも保管すること。)

なお、大会当日(時点)3日前より、当該事項に該当がある場合は、自主的に出席を見合わせることを。

※「体調管理チェックシート」を提出しない者は、出席不可とする。

また、健康状態が不確かな者は検温を行い、状況により出席を許可しないことがある。

## 2. 3密の回避

3密の回避行動を常に心掛け、周囲の人となるべく距離(※できるだけ2m最低1mを目安・以下「ソーシャルディスタンス」という。)を空けること。(介助者や誘導者の必要な場合を除く。)

## 3. 感染症対策

①各自の責任で、手洗い、うがい、洗顔、マスク着用を徹底すること。

(※特に、用器具、通信機器、審判用具、計測機器、情報端末、その他共用物の使用後は手洗い・手指の消毒・洗顔を欠かさないこと。)

②マスクの着用について

・移動中及び待機中はマスクを着用するよう心がけること。(※ソーシャルディスタンスが確保できている場合の着用は必要ない。)

・マスク着用による熱中症に気をつけること。

③緊急時には、マスクの着用、眼からの飛沫感染を防ぐための眼鏡又はサングラス(UVカットグラス)及び使い捨ての手袋がすぐ着けられるよう携帯すること。

④競技者との接触を極力減らす工夫をすること。

## 4. その他

①マイマスク・マイタオルを持参すること。

②「接触確認アプリ」をインストールすること。

③体調に異変を感じたら、直ちに医務員に相談すること。

④大会終了後、「【大会後・個人管理用】新型コロナウイルス感染症についての体調管理チェックシート」により2週間の体調管理・検温を行うこと。【提出の必要はない。】

⑤出席者は症状が4日以上続く場合は、必ず「かかりつけ医」又は「受診・相談センター(＃7700または083-902-2510)」に連絡し、大会主催者に報告すること。

⑥大会主催者の免責事項

・大会主催者が加入する保険は、「競技者」及び「大会／競技役員」・「補助員」の「傷害」及び「熱中症」に係る補償のみ。

・大会主催者は競技会に関する全ての人の感染に対するいかなる責任を負わない。

## 「応援者・観客」の皆様へ！！【重要】

新型コロナウイルスの感染リスクを軽減させるため、下記のとおり対応すること。

また、これを遵守できない者には、競技会に関わる全ての人の安全・安心を確保するため、応援・観戦中であっても退席を求めたりすることがある。

※自治体の指示や地域の状況によっては、競技場客席(スタンド等)の閉鎖(応援者・観戦者を入れない)や入場者数を制限することがある。

## 1. 体調管理

体調管理を徹底する。

- ①発熱(37℃を超える場合)、咳、倦怠感、咽頭痛などが見られる場合は観戦できない。
- ②サーモメーター等を利用した競技場入場時の体温チェックを行う。また、入場口で『「応援者・観客」連絡先表』に必要事項を記入し提出しリストバンドを受け取り必ず装着すること。(※各大会での指定した箇所から入場)

## 2. 3密の回避

3密の回避行動を常に心掛け、周囲の人となるべく距離(※できるだけ2m最低1mを目安・以下「ソーシャルディスタンス」という。)を空けること。(介助者や誘導者の必要な場合を除く。)

- ①他観戦者と十分な距離を空けて観戦すること。また、競技場客席内の移動を制限する場合がある。(※観戦可能座席を設定する場合がある。)
- ②濃厚接触や混雑を緩和するため、入退場時に、開場・閉場時間を設定することがある。また、入退場時に待機列、入場列ゾーニング等の設定や券種、座席場所に基づいた制退場などを行う場合がある。
- ③競技者に付添う場合の競技者との接触時には、ソーシャルディスタンスを確保し、会話に注意すること。
- ④競技者との交流(サイン色紙の要求、ハイタッチ等)は原則実施しない。
- ⑤「3密」の状態が発生しやすくなるため、喫煙所を設置しない。
- ⑥競技場内での飲食物の販売を抑制する場合がある。
- ⑦観客を限定的に入れても十分な広さがある場合は、競技場客席(スタンドなど)をチーム関係者など待機スペースとして使用する場合がある。

## 3. 感染症対策

- ①観戦中は、マスクを着用すること。(※ソーシャルディスタンスが確保できている場合の着用は必要ない。マスク着用による熱中症には十分気をつけること。)
- ②手洗いや咳エチケットなどの実施を心がけること。
- ③飛沫感染の予防のため、声を出しての応援(声援、応援歌)・集団での応援を行わないこと。
- ④トイレ(便座、ドアノブ、水洗トイレのレバー等)を清潔に保つこと。(便座の蓋をしてから流す)
- ⑤「ゴミ」は各自持ち帰ること。

## 4. その他

- ①マイマスク・マイタオルを持参すること。
- ②「接触確認アプリ」をインストールすること。
- ③体調に異変を感じたら、直ちに医務員に相談すること。
- ④参加者は症状が4日以上続く場合は、必ず「かかりつけ医」又は「受診・相談センター(＃7700または083-902-2510)」に連絡し、大会主催者に報告すること。
- ⑤観客に感染者が出た場合、周囲に座っていた方を特定するために次のような対策を行う。

## 【座席指定席の場合】

・入場者が何時にどの席に座っていたか把握できるような管理体制を構築する。

## 【自由席の場合】

・観戦者が何時にどの座席・エリアに座っていたかを申告していただく場合がある。  
(※観戦場所【座席番号等】をスマートフォン等で撮影し、2週間保存すること。)

## ⑥大会主催者の免責事項

- ・大会主催者が加入する保険は、「競技者」及び「大会／競技役員」・「補助員」の「傷害」及び「熱中症」に係る補償のみ。
- ・大会主催者は競技会に関する全ての人の感染に対するいかなる責任を負わない。

## 「メディア」の皆様へ！！【重要】

新型コロナウイルスの感染リスクを軽減させるため、下記のとおり対応すること。

また、これを遵守できない者には、競技会に関わる全ての人の安全・安心を確保するため、取材を取り消したり、途中退場を求めたりすることがある。

## 記

## 1. 「体調管理チェック表」等の提出

大会1週間前から【大会前・提出用】新型コロナウイルス感染症についての体調管理チェックシート(以下「体調管理チェックシート」という。)を記入し、大会当日、「報道受付」に提出しリストバンドもしくは報道用ビブスを受け取り必ず装着すること。(※提出前に、提出するデータをコピーまたは写真に撮り、自身でも保管すること。)

なお、大会当日(時点)3日前より、当該事項に該当がある場合は、自主的に取材を見合わせる。

※「体調管理チェックシート」を提出しない者は、取材不可とする。

また、健康状態が不確かな者は検温を行い、状況により取材を許可しないことがある。

## 2. 3密の回避

3密の回避行動を常に心掛け、周囲の人となるべく距離(※できるだけ2m最低1mを目安・以下「ソーシャルディスタンス」という。)を空けること。

①会場(取材エリア/ミックスゾーン/撮影エリア/プレスルームなど)内での取材人数は、できる限り人数を少なくすること。

(例)1社1名(取材・撮影兼務) or 取材/撮影 各1名 など

②撮影エリアは、ソーシャルディスタンスをカメラマン同士で調整すること。また、ソーシャルディスタンスで区切る場合がある。

③ミックスゾーンは原則、設置しないが、設置する場合は柵などでソーシャルディスタンスを確保する。

④囲み取材・インタビューは、競技者同意のもと、ソーシャルディスタンス(競技者と取材者および取材者同士の距離)を確保すること。

## 3. 感染症対策

①取材時はマスクを着用すること。(※ソーシャルディスタンスが確保できている場合の着用は必要ない。また、マスク着用による熱中症には十分気をつけること。)

②会場内では手洗いや咳エチケットなどの実施を心がけること。

## 4. その他

①各大会の取材を希望される場合は、事前に申し込むこと。

申 込 先 ⇒ 山口陸上競技協会事務局(維新百年記念公園陸上競技場内)

TEL:083-920-6125 e-mail:yaaf@yaaf.jp

②「AD カード」又は「ビブス」を着用すること。(※大会主催者側で準備)

③マイマスク・マイタオルを持参すること。

④「接触確認アプリ」をインストールすること。

⑤体調に異変を感じたら、直ちに医務員に相談すること。

⑥大会終了後、【大会後・個人管理用】新型コロナウイルス感染症についての体調管理チェックシートにより2週間の体調管理・検温を行うこと。【提出の必要はない。】

⑦出席者は症状が4日以上続く場合は、必ず「かかりつけ医」又は「受診・相談センター(＃7700または、083-902-2510)」に連絡し、大会主催者に報告すること。

⑧大会主催者の免責事項

・大会主催者が加入する保険は、「競技者」及び「大会/競技役員」・「補助員」の「傷害」及び「熱中症」に係る補償のみ。

・大会主催者は競技会に関する全ての人の感染に対するいかなる責任を負わない。

陸上競技場平面図

雨天練習場出入口

雨天練習場

退場口

招集所(競技者係)

競技終了選手

大会本部  
役員控室

更衣室

選手受付  
報道受付

TIC 役員受付

更衣室出入口

選手・監督・コーチ  
チーム関係者

